

疾患情報ウェブサイトのご案内

疾患情報 CMLステーション

CMLの疾患や治療について、専門医がわかりやすく解説する動画や、患者さんからのよくある質問にお答えするQ&A、CMLとかかわりながら活躍されている方々の体験談などをご覧ください。

<http://www.cmlstation.com>



服薬手帳アプリのご案内

検査値、副作用などを入力し、毎月の医療費を管理できるスマートフォン用アプリです。服薬時間を知らせるアラーム機能やカレンダー機能もあり手軽で便利にご利用いただけます。App Store、Google Playから無料でダウンロードいただけます。



かかっている医療施設

施設名：

連絡先：

主治医：

タシグナ®を服用される お子さまと保護者の方へ

監修：慶應義塾大学 医学部 小児科 専任講師 嶋田 博之 先生



はじめに（保護者の方へ）

タシグナ[®]（一般名：ニロチニブ塩酸塩水和物）は、慢性骨髄性白血病（CML）を治療するためのお薬です。

本冊子は、タシグナ[®]による治療を受けるお子さまご本人が、病気のこと、タシグナ[®]のはたらき、飲み方などについて、できるだけ理解できるように、最初の数ページをお子さま向けの内容にしています。

保護者の方には全ページを読んでいただき、お子さまの治療にあたりご注意いただきたい点をご理解いただくとともに、ご不明な点や、不安に思うことが出てきましたら、主治医、薬剤師、看護師にご相談ください。

なお、8ページに、1回に飲むカプセルの数、1日に飲む回数や飲む時間等をメモできるようにしてありますので、主治医の先生に聞いて書いておくといいでしょう。



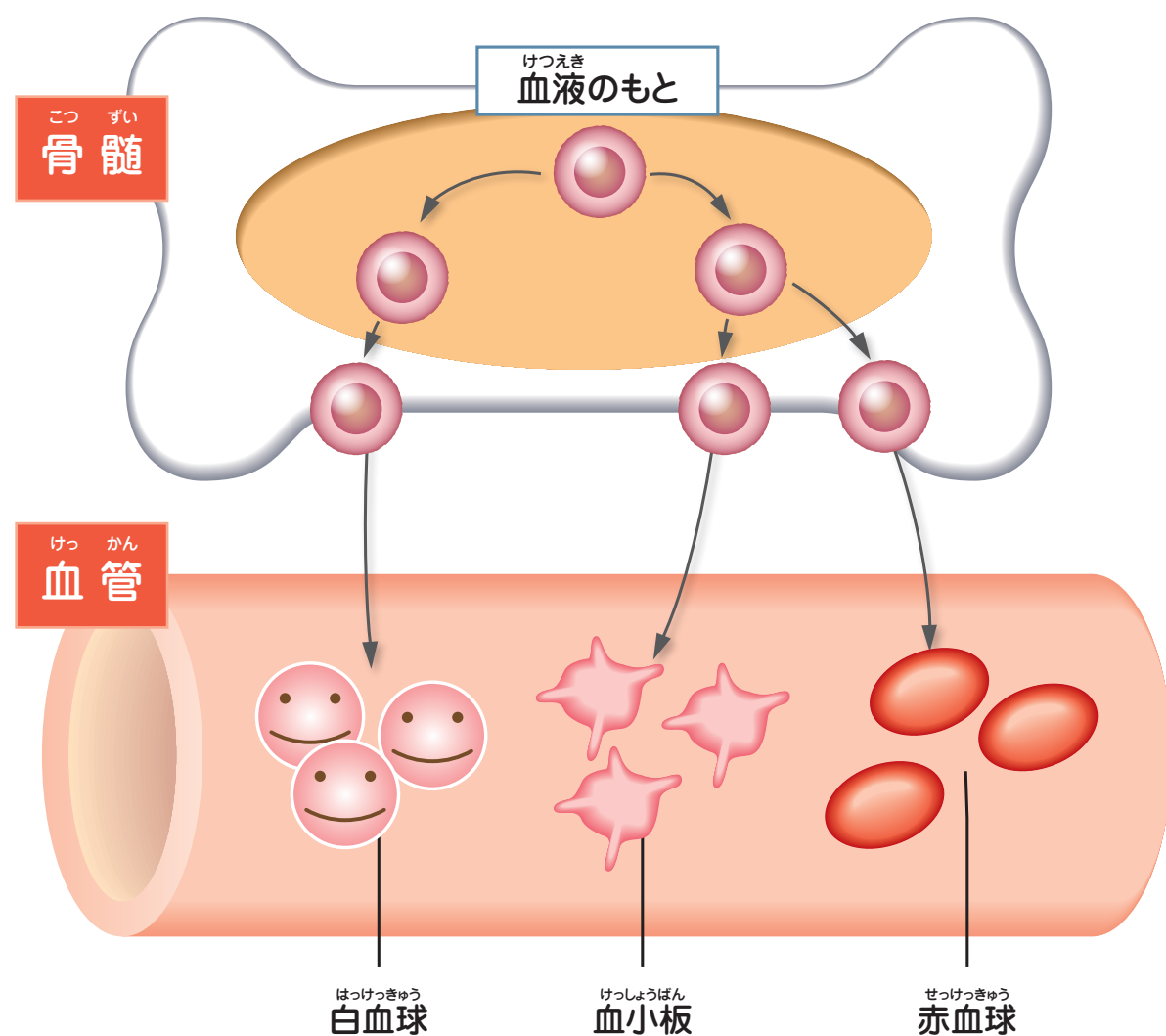
もくじ

まんせいこつずいせいはいっけつびょうしーえむえる 慢性骨髄性白血病（CML）ってどんな病気？	4
びょう き なに この病気に何もしないでいるとどうなるの？	5
まんせいこつずいせいはいっけつびょうしーえむえる 慢性骨髄性白血病（CML）のお薬	
「タシグナ [®] 」のはたらきとは？	6
タシグナ [®] の飲み方は？	8
こんなときは	10
慢性骨髄性白血病（CML）とは	12
CMLでは、Bcr-Ablという蛋白のはたらきにより 体の中で白血病細胞が増えてしまいます	14
タシグナ [®] は、Bcr-Abl蛋白を標的とする分子標的治療薬です	15
タシグナ [®] で治療する前に確認すること	16
タシグナ [®] の飲み方について 保護者の方へのお願い	18
タシグナ [®] の副作用	20
タシグナ [®] 服用にあたって注意すること	23
タシグナ [®] 治療の目標	24
タシグナ [®] 服用中に行う検査について	26
タシグナ [®] の概要	28
小児慢性特定疾病の医療費助成について 参考	29

保護者の方へ

慢性骨髄性白血病(CML)ってどんな病気?

私たちの体に流れている血液は、骨の中の「骨髄」というところでつ
 られています。骨髄には血液のもとがあって、それが赤血球、白血球、
 血小板などになっていきます。

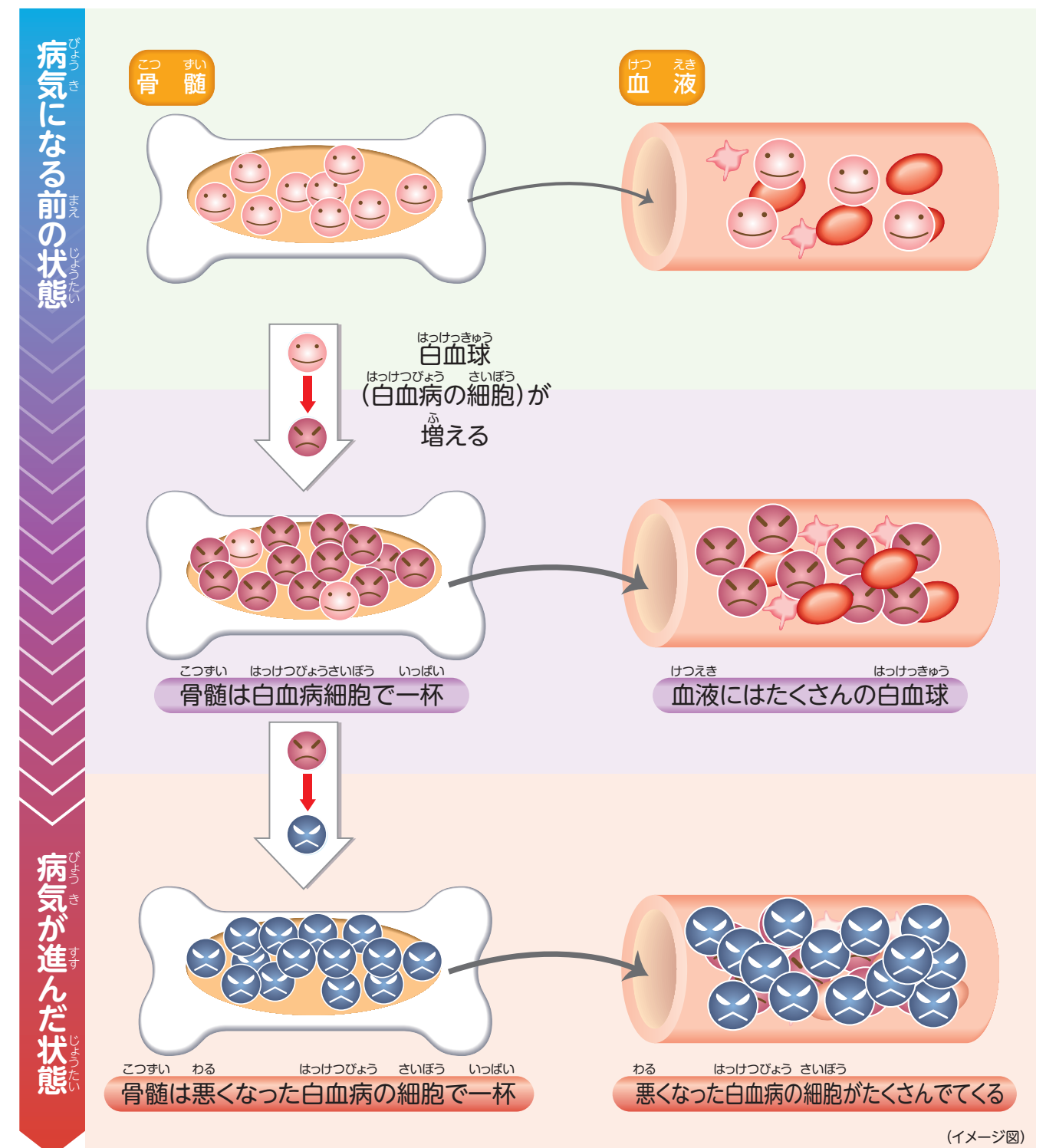


(イメージ図)

慢性骨髄性白血病(CML)では、骨髄にある血液のもとが病気になって、
 悪い白血球(白血病細胞)が増え続けているのです。

この病気に何もしていないでいるとどうなるの?

CMLは、時間がたつにつれて息が苦しくなる、熱が出る、血が出やす
 くなる、血が止まりにくいなどがあらわれるようになります。



(イメージ図)

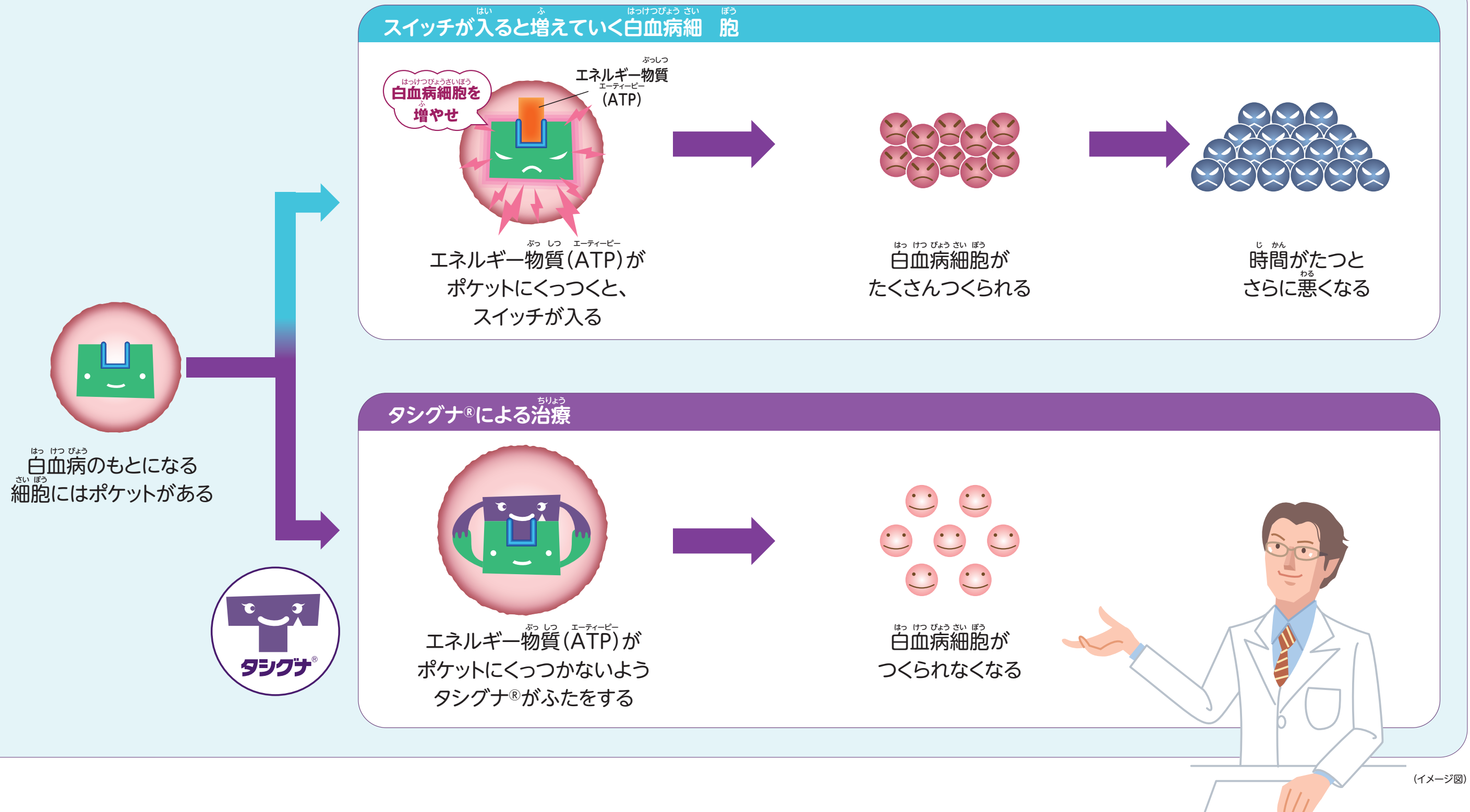
だから CML はできるだけ早く治療を始めて、早いうちに白血病の細胞
 を減らすことが大切です。

慢性骨髄性白血病(CML)のお薬「タシグナ[®]」のはたらきとは？

白血病のもとになる細胞にはポケットがあって、そこにATPという体の
中にあるエネルギー物質がくっつくと、「白血病細胞を増やせ」という
スイッチが入ります。タシグナ[®]は、そのポケットにふたをするお薬です。

スイッチが入らないと、白血病細胞はそれ以上増えることができなくなっ
て、残っている白血病細胞も減っていきます。

タシグナ[®]のはたらき



タシグナ[®]の飲み方は？

● お薬は決められたとおりに飲んでください。

飲み方のメモ

※ 1回に飲むカプセルの数や、時間などを書いておきましょう

わからないことがあったら、病院の先生に聞いてください

● 水またはぬるま湯で飲んでください。



● 食事の1時間以上前または食後2時間を過ぎてから飲んでください。

保護者の方へ

お子さまの食事と服薬の時間にご注意ください

食事の前に飲む場合

食事の1時間以上前に飲んでください

1時間以上前

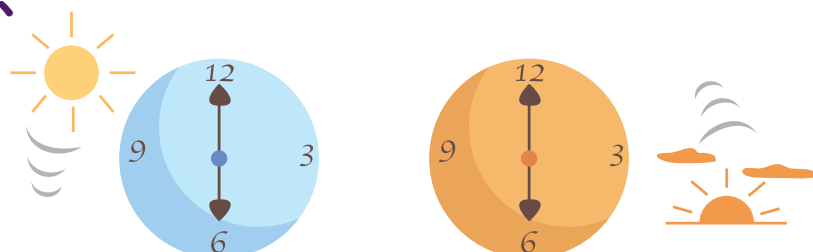
2時間以降

食事の後に飲む場合

食後2時間を過ぎてから飲んでください。お薬を飲んだ後1時間は食事ができません。

食事が摂れない時間帯でも、飲み物(水、お茶など)は飲んでもかまいませんが、グレープフルーツジュースは常に避けてください。

● タシグナ[®]を飲むときは、およそ12時間あけてください。



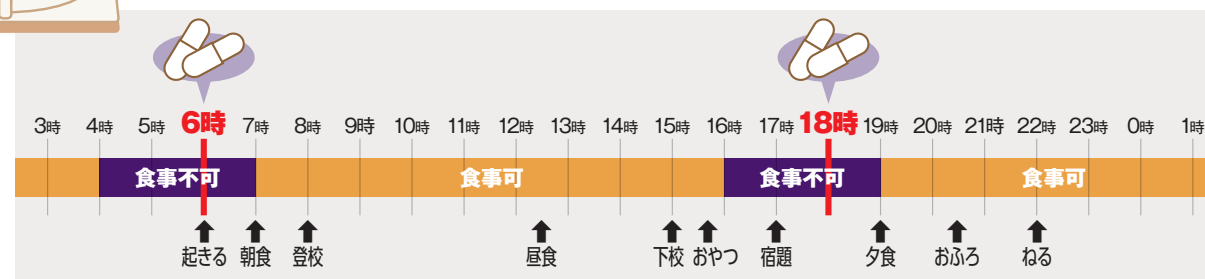
● タシグナ[®]の飲み方の例

タシグナ[®]を飲む時間は、学校や習い事などの生活のリズムに合わせて、病院の先生やお家の人と決めるようにしましょう。



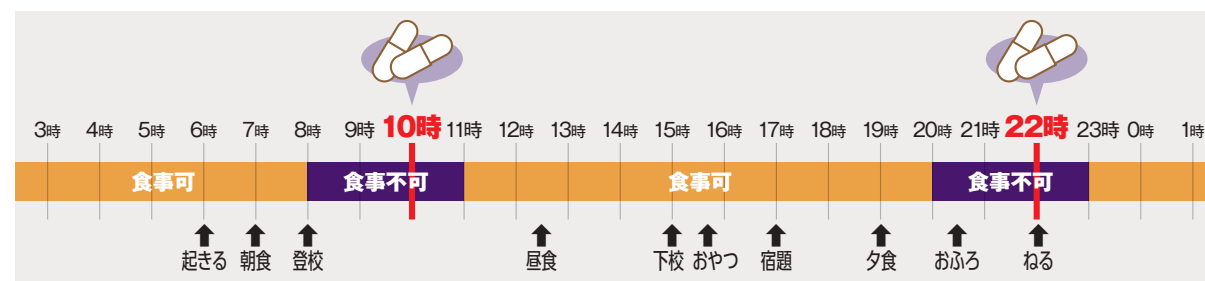
朝起きてすぐにお薬を飲む場合

例) 1回目：朝6時に起きた後すぐ、タシグナ[®]を飲み、1時間後に朝食をとります
2回目：おやつが終わったら2時間空けてタシグナ[®]を飲み、1時間後に夕食をとります



夜寝る前にお薬を飲む場合

例) 1回目：朝食は8時までに済ませ、タシグナ[®]を午前10時に(学校で)飲みます
2回目：夕食は20時までに済ませ、タシグナ[®]を夜寝る前22時に飲みます



※ こちらに示した時間は例であり、このとおりに食事をしたりお薬を飲んだりする必要はありません

● 気をつけること

- 病院の先生の指示なしに途中でお薬を飲むのをやめたり、お薬の量を変えたりしないでください。
- グレープフルーツジュースはどんなときでも飲まないでください。



こんなときは

Q タシグナ®を飲み忘れてしまったときは、
どうしたらいいですか？

A 忘れたときの分は飲まないで、次のお薬の時間に1回分を飲んでください。

Q 間違っ^{まちが}て決^きめられた量^{りょう}より
多く飲^のんでしまっ^{おお}た
ときは、どうしたら
いいですか？

A すぐに病院^{びょういん}の先生^{せんせい}に
相談^{そうだん}してください。



Q お薬^{くすり}を飲^のんだあと、いつもと体^{からだ}の調子^{ちょうし}が違^{ちが}うときはどう
したらいいですか？

A 「発疹^{ほっしん}（ひふにプツプツが出る）」「頭^{あたま}が痛^{いた}む」「吐^はき気^けがする・も
どす」「熱^{ねつ}が出^でる」「かゆ^{かゆ}み」「毛^けが抜^ぬける」などがあらわれたら
すぐに病院^{びょういん}の先生^{せんせい}に相談^{そうだん}してください。



Q 食^{しょく}事をし^じてはいけ^{しょく}ない時^じ間に食^{しょく}事をし^じてしまっ^じたときは、
どうしたらいいですか？

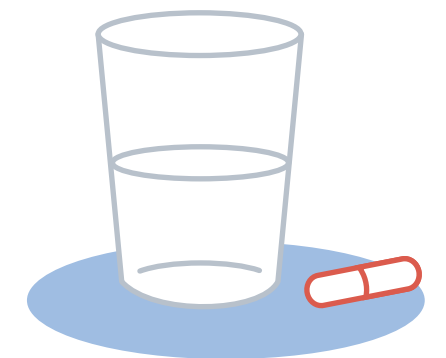
A タシグナ®の副作^{ふくさよう}用^{よう}があらわれやすくなる可^か能^{のう}性^{せい}があります（20
ペー^{さんしやう}ジ参^{からだ}照^{ちょうし}）。体^{からだ}の調子^{ちやうし}に注^{ちゆう}意^いし、もし10ペー^{した}ジの下^{した}のよう^{よう}な
いつもと違^{ちが}う気^きにな^きることがあらわれたら、すぐ^きに病^{びやういん}院^{いん}の先^{せん}生^{せい}
や薬^{やくざいし}劑^し師^{そうだん}さん^{そうだん}に相^{そう}談^{だん}してくだ^きさい。

保護者の方へ

副作用については、20ページに記載してあります。お子さまの体調に注意してください。

Q 水^{みず}、ぬるま湯^{ぬるまゆ}以外^{いがい}で飲^のんでもいいですか？

A 水^{みず}、ぬるま湯^{ぬるまゆ}以外^{いがい}でタシグナ®を飲^の
んだ場^ば合^{あい}に、体^{からだ}にど^{たし}のよう^{よう}なこ^おとが
起^おき^{たし}るの^{みず}か確^{ゆい}かめ^{がい}られ^のてい^のま^のせ^のん。
そのた^め、水^{みず}、ぬるま湯^{ぬるまゆ}以外^{いがい}で飲^のむ
こ^とはお^すすめ^めで^きま^ませ^せん。



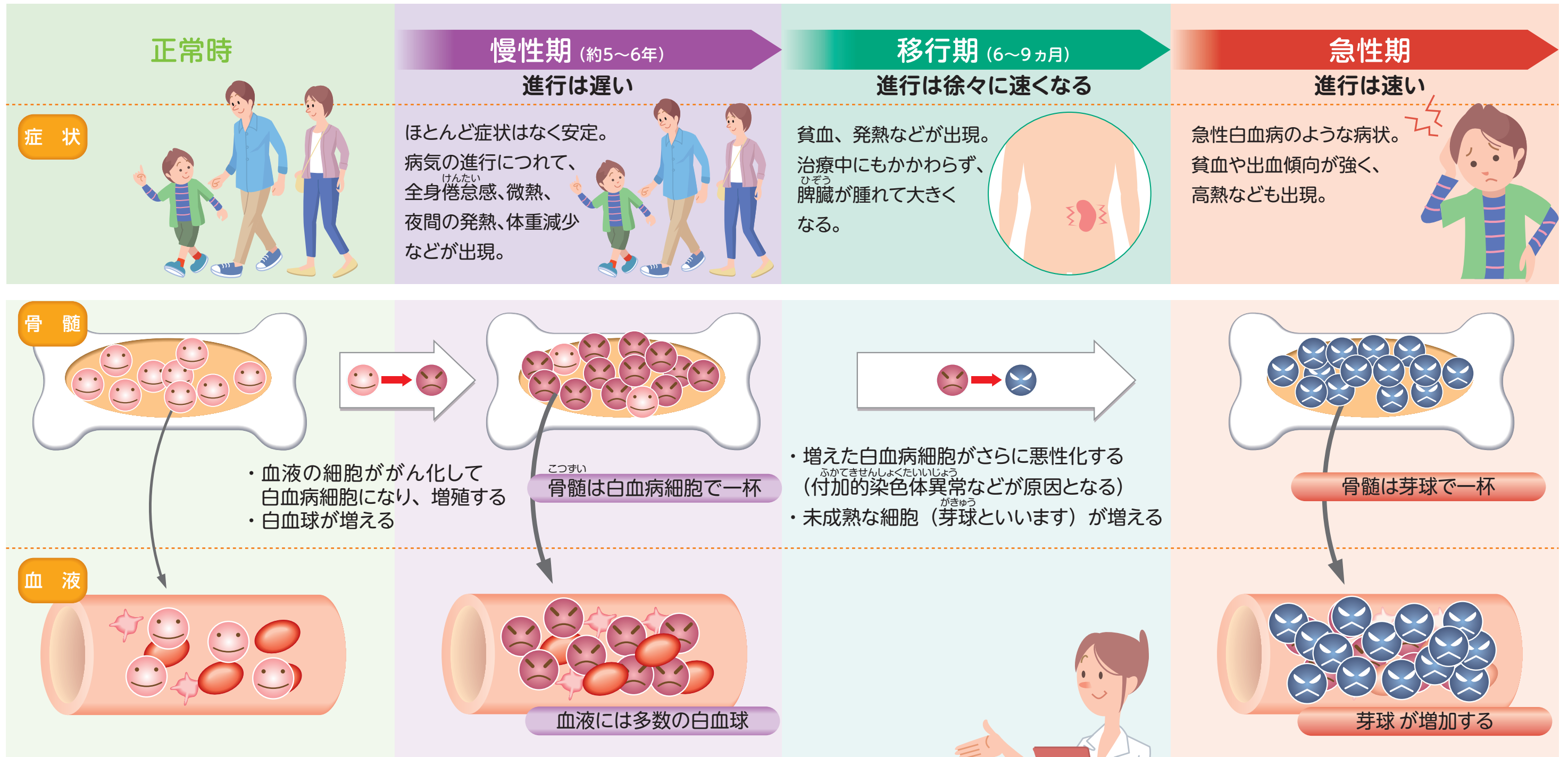
つぎのページからはお家^{うち}の人^{ひと}に読^よんでもらいま^ましょう。

慢性骨髄性白血病 (CML) とは

慢性骨髄性白血病 (CML) は、血液の細胞ががんになる病気です。
CML の慢性期のはじめのうちは、自覚症状はほとんどありませんが、血液の細胞が白血病細胞になり (がん化)、血液中の白血球が異常に増えた状態になっています。

CML は、慢性期のうちはほとんど症状はなく安定していますが、治療が不十分だと増殖した白血病細胞がさらに悪性化し、移行期、急性期になると病気のコントロールがむずかしくなります。

そのため、白血病細胞をできるだけ早いうちに減らし、慢性期を維持することを目的に治療が行われます。



(イメージ図)

CMLでは、Bcr-Ablという蛋白のはたらきにより
体の中で白血球細胞が増えてしまいます

シーエムエル CML の白血球細胞は、病気の原因である「フィラデルフィア染色体」上
にある、BCR-ABL 遺伝子からつくられる「Bcr-Abl 蛋白」のはたらきによ
って体の中で増えてしまいます。

Bcr-Abl 蛋白の発生

フィラデルフィア染色体 BCR-ABL 遺伝子 Bcr-Abl 蛋白



フィラデルフィア染色体上にある
BCR-ABL 遺伝子から、
Bcr-Abl 蛋白がつくられる

(イメージ図)

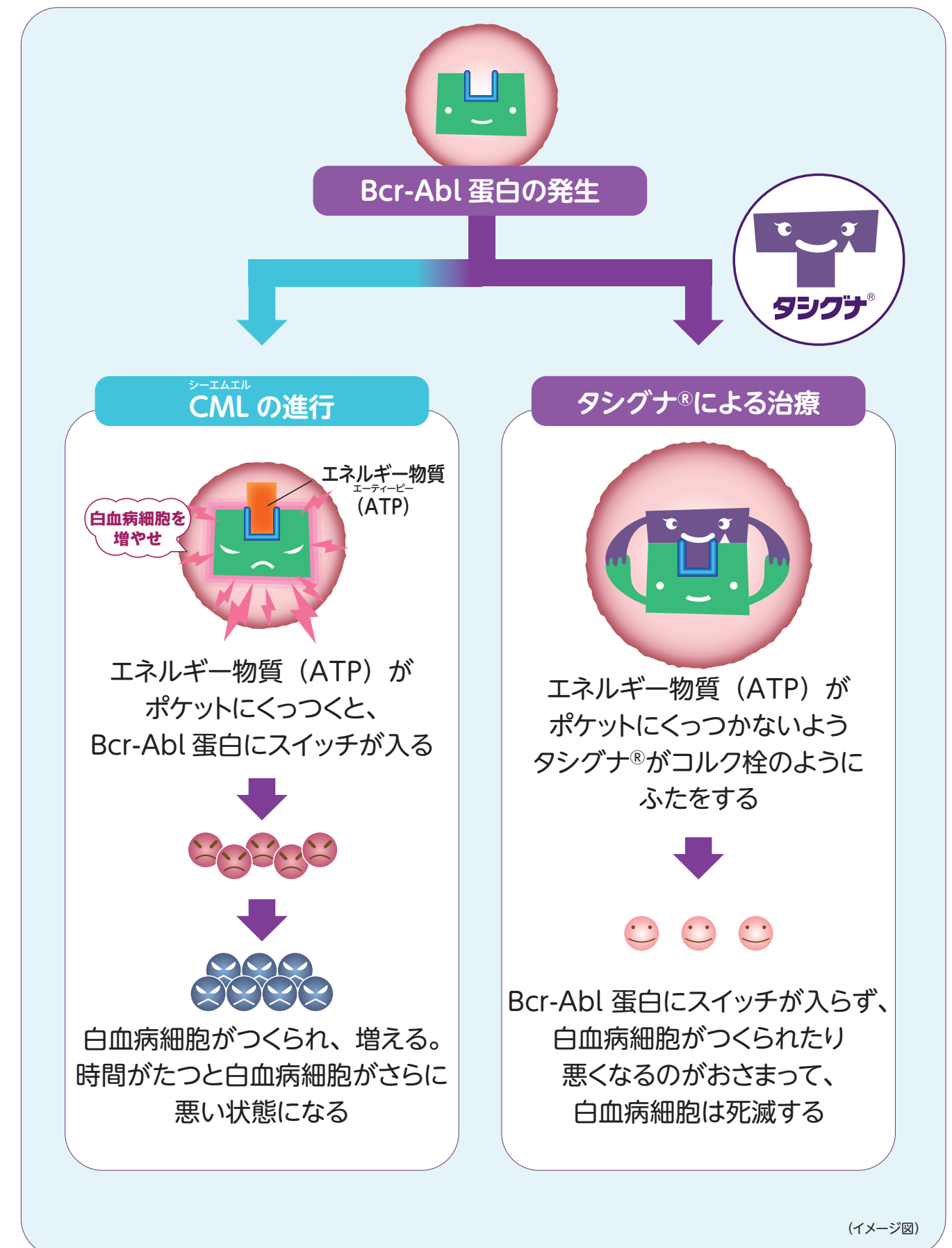


正常な細胞を攻撃せず、病気の原因分子のみを
狙ってそのはたらきを抑えるお薬を「分子標的治療
薬」とよびます。

タシグナ®は、Bcr-Abl 蛋白を標的とする分子標的治療薬です。Bcr-
Abl蛋白のポケットにエネルギー物質であるATPのかわりにくっついて、
「白血球細胞を増やせ」という指令が出ないようにすることで、白血球
細胞を死滅させ、さらに残存する白血球細胞が悪性化することを防ぎま
す。

タシグナ®は、Bcr-Abl蛋白を標的とする
分子標的治療薬です

■タシグナ® (分子標的治療薬) の作用



タシグナ[®]で治療する前に確認すること

下記の項目に当てはまるお子さまは、タシグナ[®] が飲めない、もしくは飲むときに注意が必要です。

☐ お薬の服用によって過敏症^{か びんしょう}があらわれたことがある

☐ 現在、他に薬を服用している
(飲み合わせについては17ページをご参照ください)

☐ 心臓の病気にかかっている、または以前かかったことがある*

☐ 心電図の検査で異常^{キューティー かん かく えん ちよう} (QT間隔延長)といわれている、またはいわれたことがある (QT間隔延長をきたすおそれがあります) *

☐ 肝臓の病気にかかっている、または以前かかったことがある
(肝機能障害が悪化するおそれがあります)

☐ 脾臓^{すい}の病気にかかっている、または以前かかったことがある
(脾炎が悪化または再発するおそれがあります)

☐ 妊娠している、妊娠する可能性がある

☐ ^{ビーシーアール エーブル}BCR-ABL遺伝子に「T315I」という点突然変異がみとめられた
(残念ながらタシグナ[®]の効果がまったく期待できません)

* これまでに心臓の病気にかかったことがあったり、心電図の異常を指摘されたことがある場合は、タシグナ[®]服用後に心臓に関連する副作用があらわれやすくなる可能性がありますので、特に注意が必要です。

タシグナ[®]との飲み合わせに注意する必要のあるお薬など

主なお薬等の名称	お薬の種類	想定される作用
アゾール系抗真菌剤： イトラコナゾール、 ボリコナゾール等	感染症（真菌）の薬	タシグナ [®] の作用が強く出る可能性があります。
リトナビル	感染症（HIV）の薬	
クラリスロマイシン	感染症（細菌）の薬	
グレープフルーツジュース	－	
フェニトイン	てんかんの薬	タシグナ [®] の作用が弱くなる可能性があります。
リファンピシン	結核の薬	
カルバマゼピン	てんかん、 ^{そうびよう} 躁病などの薬	
フェノバルビタール	不眠症や不安などの薬	
デキサメタゾン	副腎皮質ホルモン剤	この薬の作用が強く出る可能性があります。
セイヨウオトギリソウ (St.John's Wort, セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品	－	
ミダゾラム	麻酔薬	
イマチニブ	慢性骨髄性白血病、 Ph陽性急性リンパ性 白血病、KIT陽性消 化管間質腫瘍の薬	タシグナ [®] の作用が強く出る可能性、及び この薬の作用が強く出る可能性もあります。
アミオダロン	不整脈の薬	心電図の異常（QT間隔延長）を起こす 可能性があります。
ジソピラミド		
プロカインアミド		
キニジン		
ソタロール	感染症（細菌）の薬	タシグナ [®] の作用が弱くなる可能性があります。
クラリスロマイシン		
ハロペリドール		
モキシフロキサシン		
ベプリジル	不整脈、狭心症の薬	タシグナ [®] の作用が弱くなる可能性があります。
ピモジド	統合失調症などの薬	
プロトンポンプ阻害剤	胃かいようなどの薬	

タシグナ[®]の飲み方について 保護者の方へのお願い

- 食事の1時間以上前または食事の2時間以上後に服用させていただきます。
- 通常、1日2回服用します。服用の間隔は12時間を目安にしてください。
- 1回に服用するカプセル数、1日の服用回数は、主治医の指示に従ってください。
- タシグナ[®]の服用については、学校や習い事などの生活のリズムに合わせて主治医や学校の先生と決めてください。
- タシグナ[®]は、50mg カプセル、150mg カプセル、200mg カプセルの3種類があります。



体の大きさや治療の状況などに合わせて、カプセルの種類や、服用カプセル数、服用回数が変わることがあります。主治医の指示どおりに服用してください。

- 風邪などで服用する他の薬がある場合は飲み合わせにご注意ください。
薬によっては必要以上にタシグナ[®]の作用を強めたり、反対に弱めたりするものがあります(17ページ参照)。そのため、他の医師の診察を受けるときや市販のお薬を購入するときは、タシグナ[®]を服用していることを必ず医師や薬剤師に伝えてください。
- タシグナ[®]服用後、次の服用まで12時間空いていなかった場合、副作用があらわれやすくなる可能性があります(20ページ参照)。お子さまの体調に注意し、気になる症状があらわれたらすぐに主治医に相談してください。

タシグナ[®]の副作用

成人でタシグナ[®]を服用された方にあらわれやすい主な副作用は、「発疹」「頭痛」「吐き気、嘔吐」「貧血」「発熱」「かゆみ」「脱毛」などです。副作用がひどい場合は、一時的にお薬の量を減らしたり休薬しますが、お子さまや保護者の方の判断で服用を中止したり、量を変えたりせず、必ず主治医に相談してください。

お子さまにこのような症状があらわれた場合には主治医や薬剤師にご相談ください。また、副作用のあらわれ方は個人差がありますので、ここに挙げている副作用以外で、いつもと違う症状がみられた場合には主治医や薬剤師にご相談ください。

タシグナ[®]の副作用とその対処方法

副作用	対処方法	次の診察日まで待たず、すみやかに主治医へご連絡 いただきたい症状
発疹	抗アレルギー薬やステロイド外用剤 / 内服薬で治療 することがあります。	・ 粘膜 (口唇、目の結膜、外陰部など) の発疹 ・ 発熱をともなう発疹 ・ 全身の発疹
頭痛	痛み止めや筋肉の緊張を取るお薬、不安を和らげる お薬で治療することがあります。	・ 吐き気や嘔吐をともなうような強い頭痛
吐き気、嘔吐	吐き気止めのお薬で治療することがあります。	・ 吐き気や嘔吐が続き、食事や水分を ほとんどとることができない
貧血	血液検査の結果に基づいて、ヘモグロビンの数が 減っている場合は一時的にタシグナ [®] を休薬するこ とがあります。ヘモグロビンの数が回復したら再開 します。 場合によって、輸血などで治療することがあります。	・ 手足が冷たい ・ 爪の色が白い ・ 顔色が青白い ・ めまい、たちくらみがする ・ 疲労、倦怠感がある ・ 動悸、息切れがある
発熱	血液検査の結果に基づいて、好中球の数が減ってい る場合は一時的にタシグナ [®] を休薬します。好中球 の数が回復したら再開します。	・ 38℃以上の発熱、寒気 ・ せき、のどの痛み ・ 下痢、腹痛 ・ 排尿時の痛み、血尿、頻尿、残尿感



タシグナ[®]の副作用

Q 気をつけなければいけない症状はありますか？

A タシグナ[®]の服用中に下記の症状に気づいたら、すぐに主治医や薬剤師にご相談ください。

- 貧血、発熱、出血しやすい：こつずいよくせい 骨髓抑制の可能性
- 胸の痛み、どうき 動悸、胸の不快感：キューティーかんかく QT間隔延長の可能性*
- 胸の痛み、胸の圧迫感、息苦しい：しんきんこうそくきょうしんしょう しんふぜん 心筋梗塞、狭心症、心不全の可能性*
- 歩行時に足に痛みを感じてもしばらく休むと痛みがおさまる、しびれ、冷感：まっしょうどうみやくへいそくせいしっかん 末梢動脈閉塞性疾患の可能性*
- 突然認める片側の手足や顔のまひ、言語障害、頭痛：のうこうそく いっか せい 脳梗塞・一過性脳虚血発作の可能性*
- 胸の痛み、発熱、呼吸困難：しんまくえん 心膜炎の可能性
- 頭痛、意識障害、腹痛：脳・消化管などの出血の可能性*
- 黄疸：肝機能の障害の可能性

*これまでに心臓の病気や高血圧、脂質異常症、糖尿病にかかったことのある方や、喫煙歴がある方などは、これらの副作用があらわれやすくなる可能性がありますので、特に注意が必要です。

Q 服用後に嘔吐して（もどして）しまったときはどうしたらいいですか？

A その回の分は服用せず、次の服用時間に通常どおり1回分を服用してください。

Q 副作用が辛いときには、どうしたらいいですか？

A 副作用のあらわれ方には個人差がありますから、「辛い」ときは主治医や薬剤師、看護師に相談してください。20ページに示したようなお薬で治療したり、場合によってはタシグナ[®]を休薬・減量して症状が改善するのを待ちます。このようにすることで体が慣れて、タシグナ[®]の継続が可能になる方が多いです。お子さまや保護者の方の判断でタシグナ[®]を中断することは避けましょう。

タシグナ[®]服用にあたって注意すること

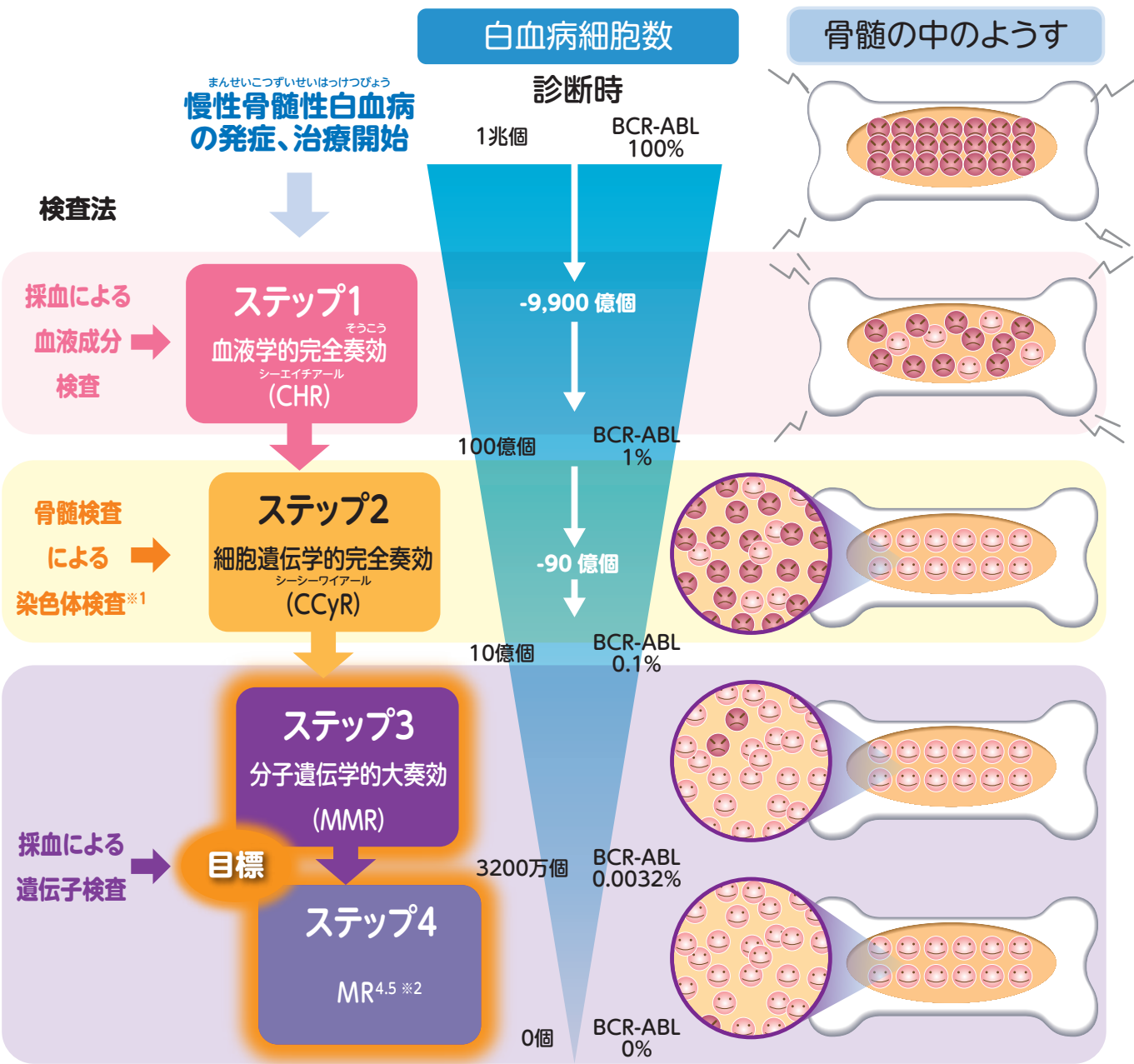
- お子さまや保護者の方の判断で服用をやめたり、服用量を変えたりしないでください。
- 体液貯留（むくみ）がないか確認してください。
- まれにめまいや目のかすみなどがあらわれることがあります。高いところでの活動や危険を伴う作業をするときには注意してください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他のお薬を購入する場合は、必ずタシグナ[®]を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- タシグナ[®]との飲み合わせに注意するお薬は、17ページの表のとおりです。
- グレープフルーツジュース、セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）を含む健康食品は、タシグナ[®]の作用に影響を及ぼすことがあるため、せつ しゅ 摂取を避けてください。グレープフルーツジュースによる影響は、摂取後数日間も続くことが知られています。
- 妊娠が可能な方は、避妊をしてください。
- 服用をやめた後に、筋肉痛や関節痛に気づいた場合は、主治医や薬剤師にご相談ください。

タシグナ®治療の目標

タシグナ®の治療効果は、白血病細胞の数がどのくらい減ったかを血液成分、染色体および遺伝子の検査で測定して判断します。

CML の治療では、白血病細胞がより少ない、ステップ3 (分子遺伝学的大奏効: MMR)、ステップ4 (MR^{4.5}) を目指しましょう。なお、各ステップの達成時期の目標は、主治医に相談してください。

CMLの治療効果と白血病細胞数



(イメージ図)

※1 染色体検査は原則として骨髄液を用いて行われますが、血液を用いた好中球FISHという検査でもおおむね代替可能とされています。
※2 MR^{4.5}は、一般的な患者さんの診断時のBCR-ABL遺伝子量100%に対して、0.0032% (4.5log) 以下に減少したことを示すものです。本レベルは、従来の検査では検出感度以下であったため、CMR (Complete MR) やPCR陰性とされていましたが、検出法の進歩により、さらに少ない白血球細胞を検出できるようになり、現在ではMR^{4.5}と記載されます。

検査と判断される治療効果、判定基準

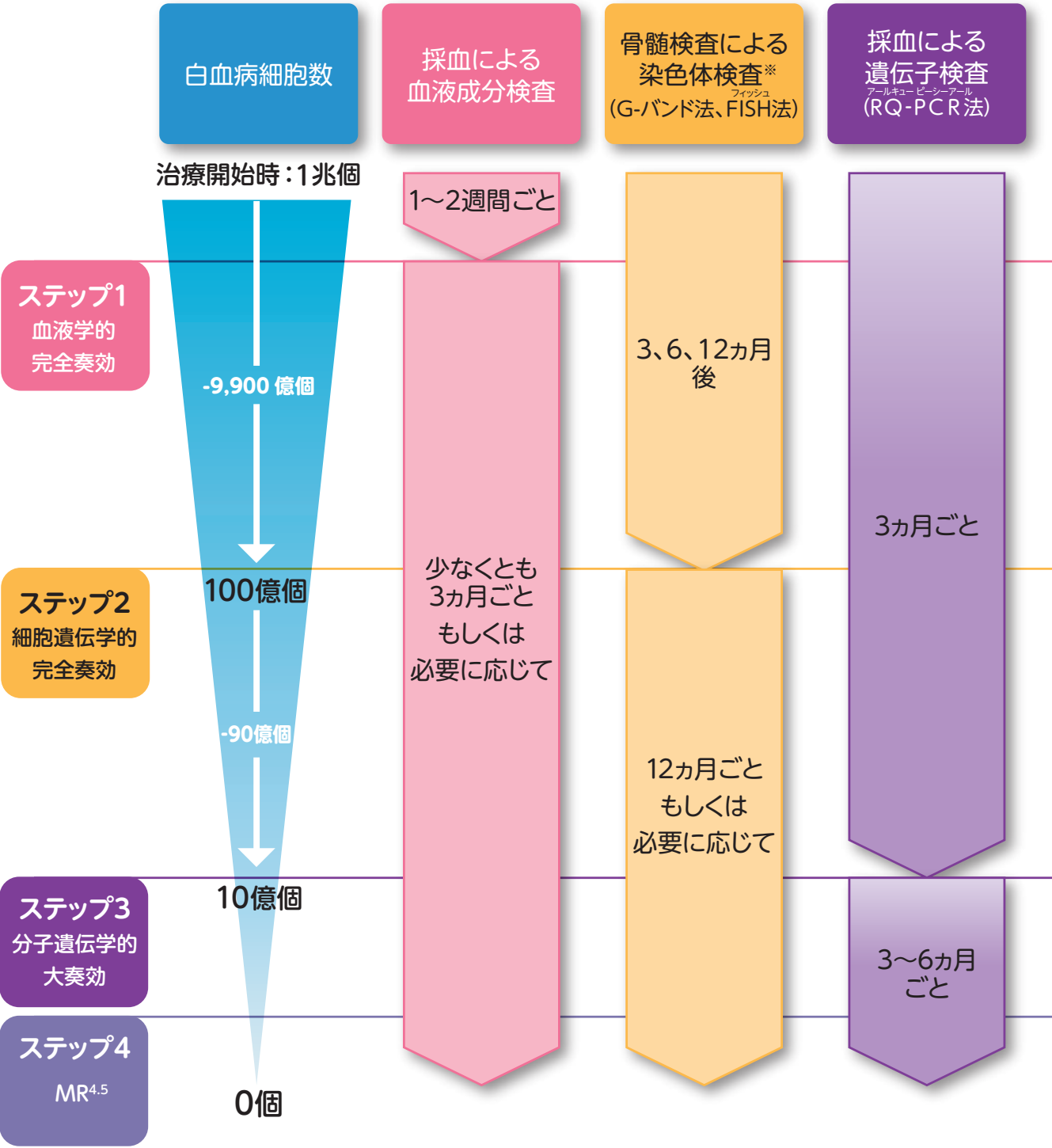
検査	治療効果	判定基準
採血による血液成分検査	血液学的完全奏効 (Complete Hematologic Response: CHR) ステップ 1	以下のすべての項目に該当する場合。 - 白血球数が10,000/μL未満 - 血小板数が45.0$\times$10⁴/μL未満 - 白血球分画に幼若顆粒球がみられず、かつ好塩基球比率5%未満 - 脾臓の腫れなし
骨髄検査による染色体検査 (G-バンド法、FISH法)	細胞遺伝学的部分奏効 (Partial Cytogenetic Response: PCyR) 細胞遺伝学的完全奏効 (Complete Cytogenetic Response: CCyR) ステップ 2	骨髄中のフィラデルフィア (Ph) 染色体陽性細胞の割合が1 ~ 35% (20個中1 ~ 7個) 骨髄中のPh染色体陽性細胞の割合が0% (20個中0個)
採血による遺伝子検査 (RQ-PCR法)	分子遺伝学的大奏効 (Major Molecular Response: MMR) MR ^{4.5} ステップ 3 ステップ 4	BCR-ABL遺伝子がABL遺伝子に対して0.1%以下、あるいは100コピー/ μ gRNA以下 BCR-ABL遺伝子がABL遺伝子に対して0.0032%以下

タシグナ[®]服用中に行う検査について

●治療効果を確認するための検査

タシグナ[®]の治療効果を確認するために、定期的に検査を行います。

検査の実施頻度のめやす



※染色体検査は原則として骨髄液を用いて行われますが、血液を用いた好中球FISHという検査でもおおむね代替可能とされています。

Baccarani M. et al.: Blood 122: 872, 2013より作図

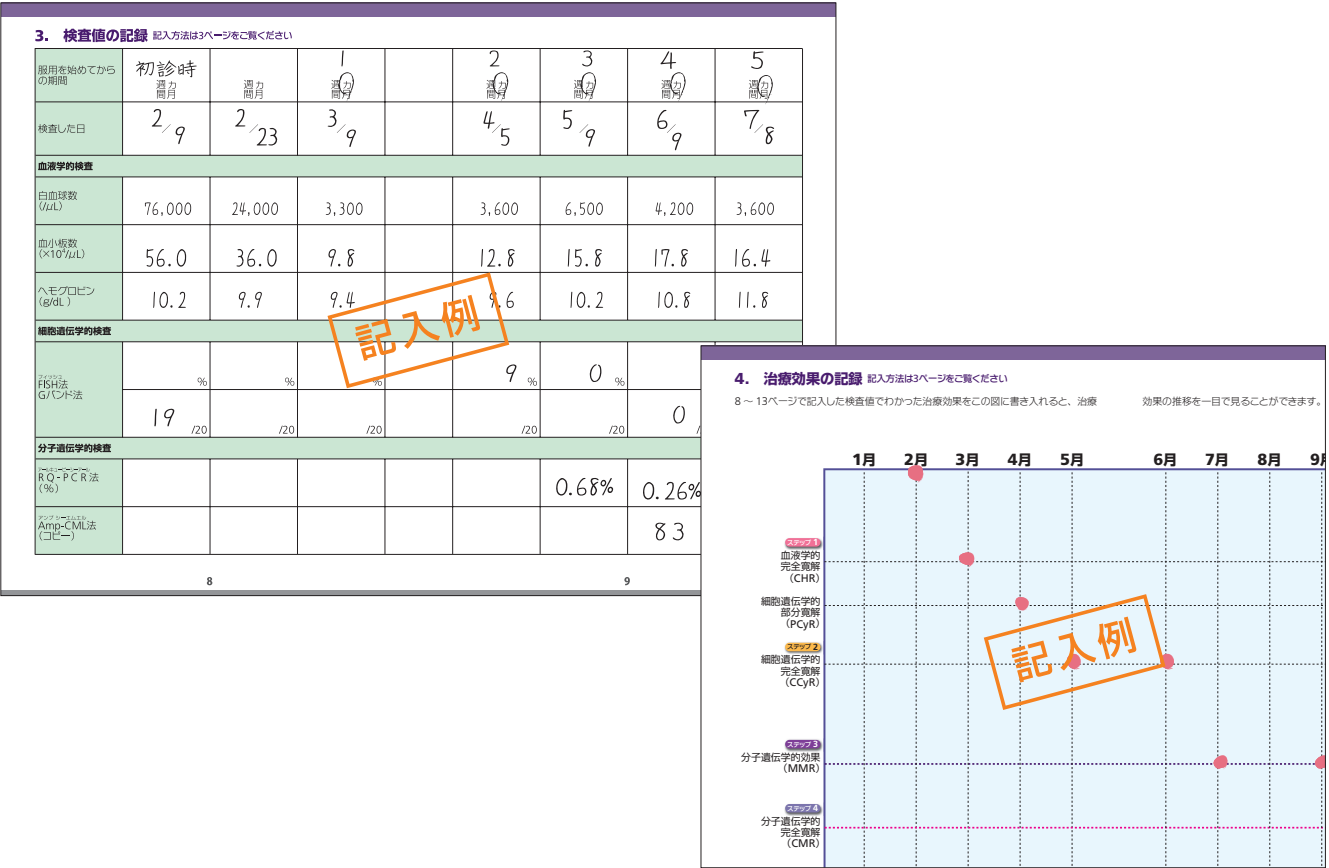
●副作用を確認するための検査

副作用の早期発見のため、タシグナ[®]の服用開始前と服用中に検査を行う必要があります。

医療機関では血液検査が、原則として服用前と、服用開始後の2ヵ月間は2週間毎、その後は1ヵ月毎に行われますが、体の状態に応じて実施することもあります。また、QT 間隔延長の有無を確認するために心電図検査が原則として服用開始前に行われ、服用開始後も、適宜行われます。

検査の結果や副作用の状況をご記入いただくための手帳をご用意していますので、ご利用になりたい方は主治医や薬剤師にご相談ください。

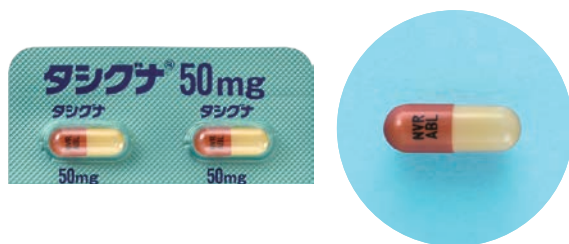
「私の服薬手帳」



タシグナ[®]の概要

●商品名

タシグナ[®]カプセル 50mg



タシグナ[®]カプセル 150mg



タシグナ[®]カプセル 200mg



※原寸大ではありません

●一般名

ニロチニブ塩酸塩水和物

●適応症

慢性期又は移行期の慢性骨髄性白血病

●保管方法

室温保存。

高温・高湿を避けて、小児の手の届かないところで保存してください。

小児慢性特定疾病の医療費助成について 参考

●小児慢性特定疾患とは

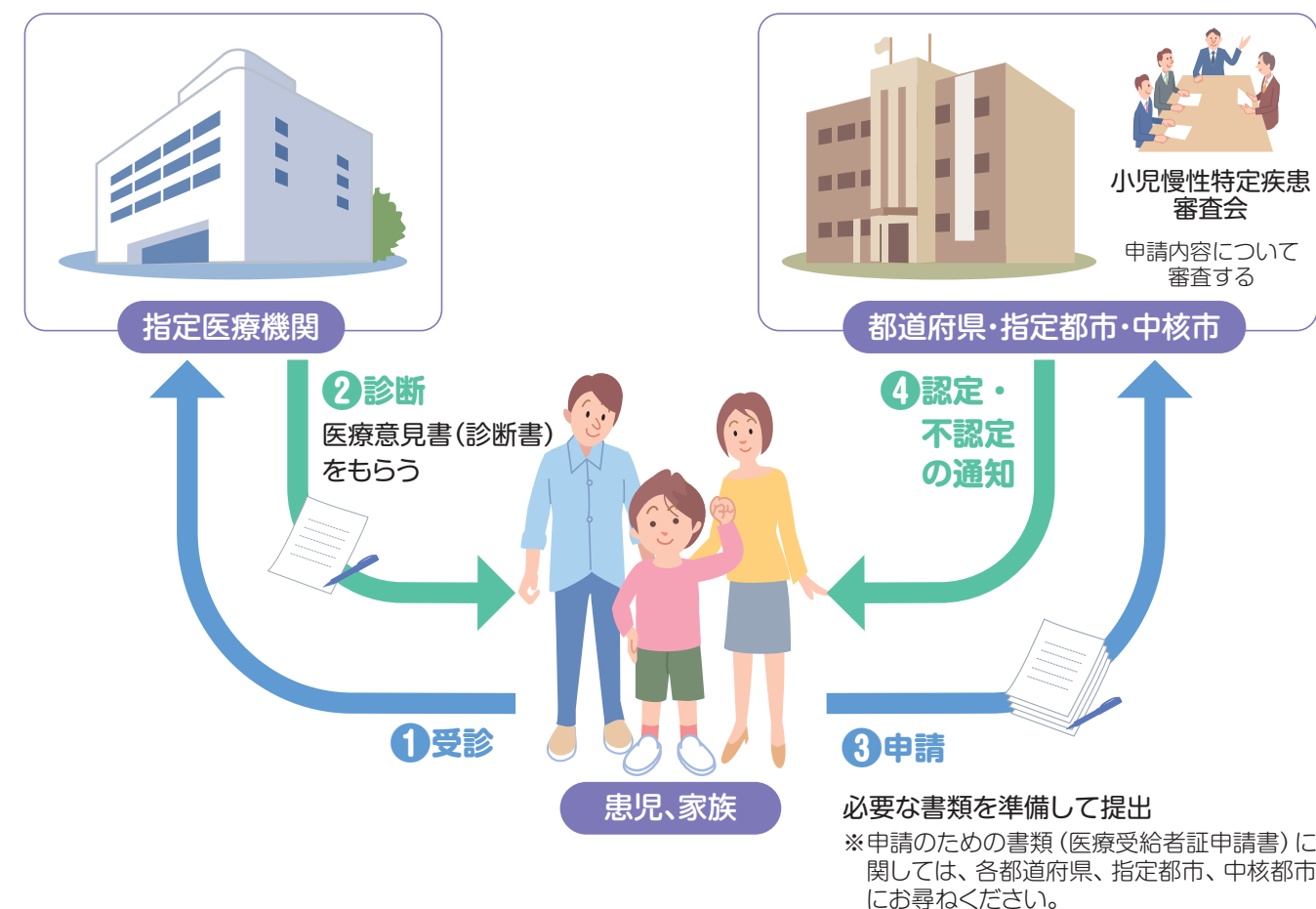
小児慢性特定疾病にかかっている児童等について、健全育成の観点から、患児家庭の医療費の負担軽減を図るため、その医療費の自己負担分の一部が助成されます。

CML は医療費の助成が受けられる病気(小児慢性特定疾患)に指定されています。

●助成を受けるには

医療費助成を受ける場合は、必要な書類を用意し、お住まいの自治体(市区町村の保健所や役所の保健福祉など)の窓口へ提出します。

■手続きの流れ(例)



●自己負担上限月額

小児慢性特定疾病の医療費助成に係る自己負担上限額(月額)は以下のとおりです。

(単位:円)

階層区分	年収の目安(夫婦2人子1人世帯)		自己負担上限額(患者負担割合：2割、外来+入院)		
			一般	重症(※)	人工呼吸器等装着者
I	生活保護等		0		
II	市町村民税 非課税	低所得I(～約80万円)	1,250		500
III		低所得II(～約200万円)	2,500		
IV	一般所得I (～市区町村民税7.1万円未満、～約430万円)		5,000	2,500	
V	一般所得II (～市区町村民税25.1万円未満、～約850万円)		10,000	5,000	
VI	上位所得 (市区町村民税25.1万円～、約850万円～)		15,000	10,000	
入院時の食費			1/2自己負担		

※重症:①高額な医療費が長期的に継続する者(医療費総額が5万円/月(例えば医療保険の2割負担の場合、医療費の自己負担が1万円/月)を超える月が年間6回以上ある場合)、
②現行の重症患者基準に適合するもの、のいずれかに該当。

